



市制10周年記念誌

たつの市 市勢要覧



住みたくなるまち  
住み続けたいまち

たつの



市制10周年記念誌

**たつの市市勢要覧**

発行日／平成27年4月

発行／たつの市

〒679-4192 兵庫県たつの市龍野町富永1005-1

TEL.0791-64-3131 FAX.0791-63-2594

URL <http://www.city.tatsuno.lg.jp/>



# 魅力の尽きないまち たつの

たつのは昔から揖保川を中心とした豊かな自然を抱えた土地です。

縄文時代からの遺跡、平安時代の賀茂神社、

また江戸時代からの古い町並みが残り、

歴史に彩られた町でもあります。

手延素麺、醤油醸造、皮革産業の伝統産業は、

全国にその名を知られるトップブランドを生み出し、

一方では最先端の科学技術の発展を支える

科学公園都市を擁します。

豊かな自然、風景と歴史、

そして最先端の技術…

飽きることなく、魅力の尽きないまち。

住みたくなる、住み続けたくなる

そんなたつの市をご紹介します。



## CONTENTS

3 市長からのメッセージ

4 たつので暮らす

① (株) ささ宮農 ② 龍野地区まちづくり協議会  
③ 竜野駅周辺地区まちづくり協議会 ④ 室津漁業協同組合 女性部  
⑤ 龍北工房 ⑥ 龍野高校 総合自然科学コース

11 たつの絶景

清流揖保川 龍野エリア 新宮エリア  
揖保川エリア 御津エリア

16 モノ語りのあるまち

醤油 素麺 皮革 特産品

20 古から人が集うまち

古代～中世 近世 三木露風 三木清・矢野勘治・内海青潮・大上宇市

24 たつのイラストマップ

26 たつの歳時記

30 未来へ輝くまち

播磨科学公園都市 子どもたちの未来

32 住み続けたいまち

安全・安心のまちづくり  
人口減少への挑戦と地域創生  
1. 定住促進の対策 2. にぎわい創出策  
3. 子育て・教育環境改善・人材育成

36 たつの市10年のあゆみ

42 たつの市プロフィール

こんにちは！  
ボクは、たつの市のイメージキャラクター  
赤とんぼくんです。  
まちのPRのお手伝いをしています。



## 「調和の10年」から「挑戦の10年」へ

兵庫県西南部に位置する龍野市・新宮町・揖保川町・御津町が、平成17年10月1日に合併し「たつの市」が誕生し、本年は市制10周年を迎え、輝かしい未来に向けた新しい出発点となる年です。

本市には、農産物、瀬戸

内魚介類をはじめ、手延素麺や醤油醸造、皮革産業といった地場産業が誇れる町です。また、古くから山陽道、筑紫大道、因幡街道など交通の要衝とし栄えた地であり、現在でも山陽自動車道、国道2号、179号、250号が市域を貫き、さらには、中国横断自動車道姫路鳥取線の整備も進められています。また、市域の約半分を山林が占め、山林で培われた肥沃な土や水が市域を横断する二級河川揖保川を介し、市南部の瀬戸内海に注がれ、豊かな漁場を作っています。

一方、国指定史跡の新宮宮内遺跡、国指定重要文化財の賀茂神社、永富家住宅、堀家住宅、また、龍野城と脇坂藩5万3千石の城下町に連なる古い町並み、江戸時代に海の宿駅として栄えた室津港などの歴史的資源も豊富に有して



たつの市長 栗原 一

います。

さらに、市北西部に位置する播磨科学公園都市では、世界最高性能の大型放射光施設Spring8を中心に国際的な科学公園都市をめざし整備を進めています。

今日、構造的課題である地方創生・人口減少克服にも真正面から取り組み、夢と希望に満ち溢れた未来へのスタートの年となるよう、平成27年度を「ふるさと創生元年」と位置付け、本市の財産である「人」・「文化」・「歴史」・「産業」・「自然」の地域資源を最大限に活かし、地域の課題を市民自らが主体的に解決するまちづくりを進めてまいりたいと考えています。これまでの「調和の10年」から「挑戦の10年」という新しいステージへ市民の皆様と手を携えて「住み続けたいまち たつの」、「住みたくなるまち たつ」に向けて全力投球でまちづくりを進めてまいります。

この市制10周年の記念誌を通じて、たつの市への愛着と理解を一層深めていただき、新しいたつの市の魅力を発見していただければ幸いです。





# たつので暮らす



たつの市の良さは、ずばり「人」にあると言っても過言ではありません。たつの市を愛し、たつの市をさらに良くしようと頑張っている人々がたくさんいます。さまざまな分野で活動する人や団体の話を通じて、たつので暮らす喜び、楽しさを感じていただければと思います。



たつのに生まれて育ったから好きも嫌いもない。土地を守るため、自分たちで何ができるかとにかく考えながらやっていく。

## たつので暮らす ①

### (株)ささ営農

代表 八木正邦さん

新宮町上笹・下笹地区の営農組合として平成14年発足。平成18年に県内で初めて営農組合から株式会社として設立。ひょうご安心ブランドに認定されている水稻や、小麦、大豆のほか、パジルの栽培、加工販売にも取り組んでいます。  
<http://www.sasaeinou.com/>

注目!!! パジルの加工工場



さ

さ営農は農業の高齢化問題、後継者不足という深刻な事態に直面した笹野地区の農家が共同でほ場整備を始めたのが始まりです。「水路などの整備をしておかないと農業は行き詰まる。地元の田んぼをみんなが安心できるように守っていかねばならない」と危機感を持った代表の八木正邦さん。平成14年には営農組合が設立され、平成18年には兵庫県でいち早く農業法人化しました。「国や関係機関が言うから法人化したんじや

なく、地域の農業を維持発展させる手段として地区の合意で『法人』を選択したのです」と強調します。「若い人が安定して長く働ける職場」となることも目標のひとつです。

現在、(株)ささ営農は地域の82戸が出資し、従業員は14名。田植機やコンバイン、トラクターなど農機具を導入し、新宮地区で約50haの農地を耕作しています。主要生産物は米、大豆、小麦のほか、路地野菜、軟弱野菜、果樹などです。直売所ではひょうご安心ブランドの米、ヒノヒカリや野菜の販売、工房で製造した寿司や弁当、菓子などを扱っています。

工房では女性たちが商品開発に活躍しています。

注目を集めているのがパジルの栽培から加工販売までを手がける事業。加工工場を稼働させ、ペースト製造を始めました。冷凍保存し一年を通して安定供給できるのも強み。玉ねぎ、にんじん、じゃがいも等への応用も計画しています。また赤トンボの歌詞にもある「桑の実」をたつのでの特産品として生産・開発加工、販売まで手がけ、国の6次産業総合化事業の認定を受けました。酒造メーカーと協力した桑の実酒やドーナツも開発しています。「とにかく試行錯誤をしつつ、チャレンジを続けていかなければ」と語る八木さんから熱い想いが伝わってきました。





たつので暮らす ②

## 龍野地区 まちづくり協議会

会長 満田邦弘さん

平成12年12月に設立。龍野地区を住みやすく、活力のある町にしようと有志で立ち上げました。熱意ある有志と自治会、老人クラブ、PTA、婦人会などの団体の代表が役員となり、地区住民と地権者など約1600戸、4000人が会員。町並み保存、植樹活動など5つの部会に分かれ活動しています。

美しいだけじゃない  
人が暮らす、生活感が見えるのが  
龍野の町のよさ。



まち並み調査



県民交流広場

たつので暮らす ③

## 竜野駅周辺地区 まちづくり協議会

会長 飯田久夫さん

JR山陽本線の竜野駅周辺の活性化のため、地元の団体、自治会などが集まり平成25年に発足。地域住民の士気をあげるためのアンケート調査、イベント、会議の開催など活発に活動しています。



駅弁立ち売り



ダンスパフォーマンス

JR

山陽本線の竜野駅は、明治22年に開業(当時は山陽鉄道)し、駅舎は明治39年に建てられたという歴史ある建物です。昭和初期には醤油産業の代表駅として、醤油材料の倉庫や運送会社、銀行、旅館などが軒を連ね、大いに賑わっていました。地元ボランティア団体が聞き取り調査して作製した駅周辺マップからも、当時の様子を伺い知ることができます。「駅周辺の活性化は、地域住民の悲願なんです」と話してくれたのは「竜野駅

周辺地区まちづくり協議会」の会長飯田久夫さんです。協議会として周辺住民にアンケートを実施したところ、竜野駅周辺は商店が少なく、魅力に欠けている。南側にしか改札がないため、駅北側からのアクセスが不便。また道が狭いため朝夕の交通渋滞がひどく、歩行者に危険であるといった問題点が浮かび上がってきました。協議会はこの結果を踏まえて「まちづくりの基本構想」をまとめ、それに沿って事業計画を立てました。まちづくりニュースの発行、まちづくりイベントや交流会

の開催などの活動を行っています。毎年11月に駅の北駐車場で開催している「竜野駅ふれあいフェスティバル」は、ダンスパフォーマンスや駅弁立ち売り、甲冑着用体験など「若い人も楽しめる、他にはないイベントを企画しています」と副会長の井河原良二さん。回数を重ねるごとに盛り上がりを見せています。現在の竜野駅の1日平均の乗降人員は約2200人。これを3000人に増やすことが目標です。「橋上駅に建て替えて、南北のアクセスが便利になれば、他の駅を利用している人も戻ってきてくれると期待しています」と飯田さん。「市と連携して、かつての活況を取り戻したいですね」と力強く話してくれました。



た

つの出身の映画監督、故前田陽一氏は「龍野は幕の内弁当のような町」と語ったことがあるそうです。町並み、醤油蔵、お寺、洋館などさまざまな要素が詰まっており、見た目もきれいで、楽しく、飽きないところが似ているというのです。龍野地区は、武家屋敷、町家、寺院など城下町の面影を色濃く残し、西播磨地域において歴史的景観形成地区に指定されています。平成12年に発足した同会は、この龍野地区を暮らしやすく、活性化



させたいという有志で結成されました。活動内容は多岐にわたり、伝統的建造物群保存地区に選定されることを目標に研修や話し合いを重ねている「伝建部会」、店舗の大型のれん製作や空き家活用に取り組む「活性化部会」、龍野のさくらの再生や緑化をめざして植樹活動などを行う「自然環境景観部会」、情報誌「わがまち龍野」を発行する「広報部会」、ふれあい朝市、フリーマーケットなどを企画運営する「イベント交流部会」の5部会に分かれて活動を行っています。

「特に町並み保存という観点から伝統的建造物をできるだけ残す活動と、さくら

の再生のために、植樹を行っていることを広く知ってほしいですね」と代表の満田邦弘さんは話されました。平成26年で12回目となるオータムフェスティバルは地域にしっかりと定着した感があり、3日間で12万人も集客があったそうです。「リピーターが多いのが特徴で、イベント内容だけでなく、龍野の人と町を気に入って来てくださるのだと思います」と満田さん。「観光客から『町を歩くと醤油の香りがする、ゴミひとつ無い、小学生たちが元気よくあいさつをしてくれる』と、褒めてもらうことがあります。どこか懐かしさを感じると言う方もいますね。日本人の心に響くものがあるのでしょうか。龍野の町を心から誇りに思います」と笑顔で言われました。



伝統産業に触れることができ、  
地元の人との交流も楽しい。  
できればずっとたつのに住みたい。

たつので暮らす ⑤

## 龍北工房

代表取締役 社長 茨木光さん

「龍北工房」は、平成25年4月に誕生した龍野北高等学校定時制の生徒たちが運営する会社です。印刷・デザイン業務に加え、たつのの伝統産業であるレザーや陶芸の製作・販売も始めました。下川原商店街に週1回店舗をオープンしています。  
◎営業時間 毎週火曜日 11:00～15:00  
<https://www.facebook.com/tatsukitakoubou>

レザー教室



龍

野北高等学校定時制の生徒たちが授業の一貫として取り組んでいる「龍北工房」は、平成25年4月に誕生しました。定時制(商業科)の3年生22名が、高校生ならではの発想で、デザイン・印刷の受注、陶芸とレザーグッズの製作と販売を行っています。「地域の役に立ちたい。高校生の力で活性化させたい」という思いで始まった課題研究の商業実践常設店舗です。店舗は龍野の景観形成地区の商店街にあり、自分達の手で改装したものです。社



商品部長  
太田夏姫さん



経理部長  
前田愛さん



会参加の第一歩として会社形式で運営。代表取締役社長、統括部長、営業部長、経理部長、商品部長の役職は生徒が立候補して選出されます。2代目社長となった茨木光さんは、「工房を長期継続し、地域に溶けこんでいくことが目標です」と、伝統産業であるレザークラフトと陶芸(新宮焼)部門を新規に立ち上げました。陶芸、レザー作品は指導を受けながら自分達で製作したものを販売。幼稚園や小学生向けに陶芸教室を開いたり出張講座も受け付けています。印刷部門では地元の企業やお店のチラシやポ

スター、小・中学校の演奏会等の横断幕などの依頼があります。たつの市からはふるさと納税の謝礼品に貼付する「感謝シール」の製作を発注されました。茨木さんをはじめ経理部長の前田愛さん、商品部長の太田夏姫さんも、「卒業しても活動には関わっていききたい、そしてできればずっとたつのに住みたいです」と笑顔で語ってくれました。オータムフェスティバルなどのイベントにも積極的に参加し、市民の間にもすっかり定着した「龍北工房」。高校生の若い力が、これからのたつの市を変えていく可能性を感じます。



私たち浜のかあちゃんが  
漁師料理と郷土の味を  
若い人たちに伝えていかないと。

たつので暮らす ④

## 室津漁業協同組合 女性部

部長 本多春代さん

室津漁業協同組合女性部として昭和32年発足。平成14年に直売所「魚魚市」をオープンし、魚介の販売、加工品製造、また料理講習会など魚食の普及活動に努めており、この取り組みは平成26年に農林水産大臣賞を受賞しました。  
◎魚魚市 毎週土曜日 10:00～売り切れまで

魚魚市



正

月には大漁旗を掲げた漁船で港が賑わう室津。古くから天然の良港として知られています。昭和32年に発足した室津漁業協同組合の女性部は、最近では、若い人の「魚ばなれ」や、「さばき方が分らない」といった声を受け「魚食」の普及活動に力を入れています。女性部役員13人を中心に、平成14年、直売所「魚魚市」をオープンし、新鮮な魚の販売と、魚介を使った惣菜、寿司、弁当などの販売を始めました。午前10時のオープンを待ちかねるよう



に、地元の固定客をはじめ観光客も訪れます。購入した魚を、その場でおろしてもらったり、おいしい食べ方やおろし方のコツを聞いたり、即席の料理教室会場になり、メンバーと交流できるのが魅力です。部長の本多春代さんは「室津は1年中、豊富な種類の魚が水揚げされます。私たち浜のかあちゃんは、魚の美味しい食べ方を誰よりもよく知っている、若い人たちに技術や知識を伝えていきたいと考えています。地元の小中学生に魚のさば

き方を指導して、4年生で舌平目の3枚おろしができるようになるんですよ」と

嬉しそうに話してくれました。ほかにも道の駅、兵庫県の食育組織での料理教室や講習会などを積極的に行っています。また、いかなごの釘煮、祭り寿司などの郷土料理に、メンバーが考案した魚料理を合わせて掲載した料理本も好評です。「港からは平安時代から続く賀茂神社を見ることができるとですよ。歴史があって、魚が豊富で、素晴らしい風景を眺められて、室津は本当にいいところです」と本多さん。漁業の後継者不足とは無縁というのも室津の海の豊かさのあらわれでしょう。魚魚市で、元気いっぱいのかあちゃんたちの笑顔に出会えます。





# 絶景

たつの

目に焼き付けたい  
たつの風景

たつのは自然豊かな土地です。  
春夏秋冬、さまざまな色合いで  
風景を染め上げます。  
時に穏やかに、時に雄々しく、  
時に厳しく、人々を包み込みます。

清流の鮎漁

小高連携授業で、  
たつの子どもたちが  
自然科学への興味を  
受け継いでくれると嬉しいです。

たつので暮らす ⑥

## 龍野高校 総合自然科学コース 細田風音さん

龍野高校では、理数系の学力の向上を目指し、平成15年度から「総合自然科学コース」が各学年に1クラス設置されています。課題研究や野外実習、海外科学研修、さらに大学教授等による特別講義を通じて自然科学に対する応用力や探究心を養っています。平成27年度から「総合自然科学科」に改編され、ますます理数教育の充実を図っています。  
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~tatsuno-hs>



光ファイバーを使ったツリーの完成



龍

野高校「総合自然科学コース」は、将来、理数分野で活躍する人材育成を目指して設置されたクラスです。平成25年度からは文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定を受け、特別なカリキュラムが実施されています。実験や実習、外部講師による講義などを取り入れ、基礎力と応用力を養っています。またSSH校としての目標に「知の拠点校づくり」があげられ、取り組みのひとつ

として「小高連携いきいき授業」を行っています。市内の小学6年生に理科や工作の楽しさを教える活動です。インタビューに答えてくれたのは、同コースの2年生の細田風音さん。小さい時から宇宙のことに興味があった、生き物が好きだった、などコースを選んだ動機を話してくれました。誉田小学校で行った授業では、光ファイバーを使ったツリーを製作しました。「前もって実験を行い、工作キットも手づくりで用意したんです」と話してくれたのは光ファイバーのしくみを講義した松本直彰さんと丸山伸明さん。教える

ことの難しさと喜びを味わったことは、将来の研究や発表にも役立つ経験となったことでしょう。「元氣いっぱい小学生が、私たちの説明に興味を持って聞いてくれて、熱心に工作したのは楽しい経験でした。この中から、科学に興味を持つ子どもたちが育ってくれたら嬉しいです」と語ってくれた細田さんと石原萌絵香さん二人は、いわば「理系女子」。「リケジョ」の育成もSSHの目的のひとつで、現在2年生のクラスは40人中、女子は15人、1年生では19人と女子生徒が年々増加しているそうです。播磨科学公園都市を擁するたつのから、世界に羽ばたく研究者が生まれる日も近いことでしょう。

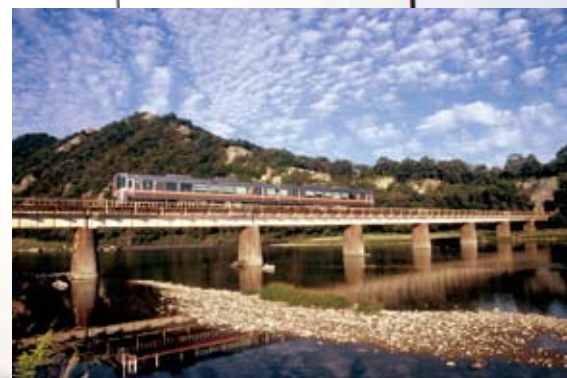




新宮 絶景  
たつの



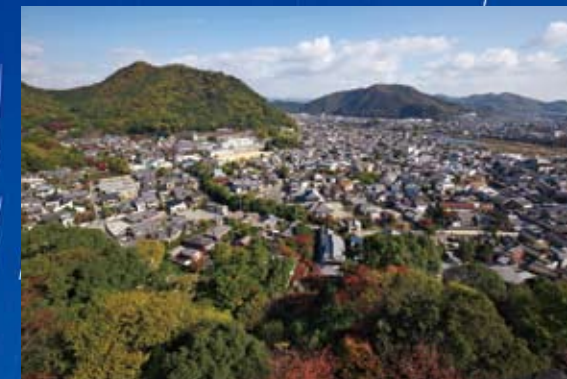
東山公園のライトアップ



姫新線の揖保川橋梁(鶯崎)



星ふる龍野城



的場山からの眺め

紅葉の聚遠亭

龍野 絶景  
たつの



霧の東山公園橋





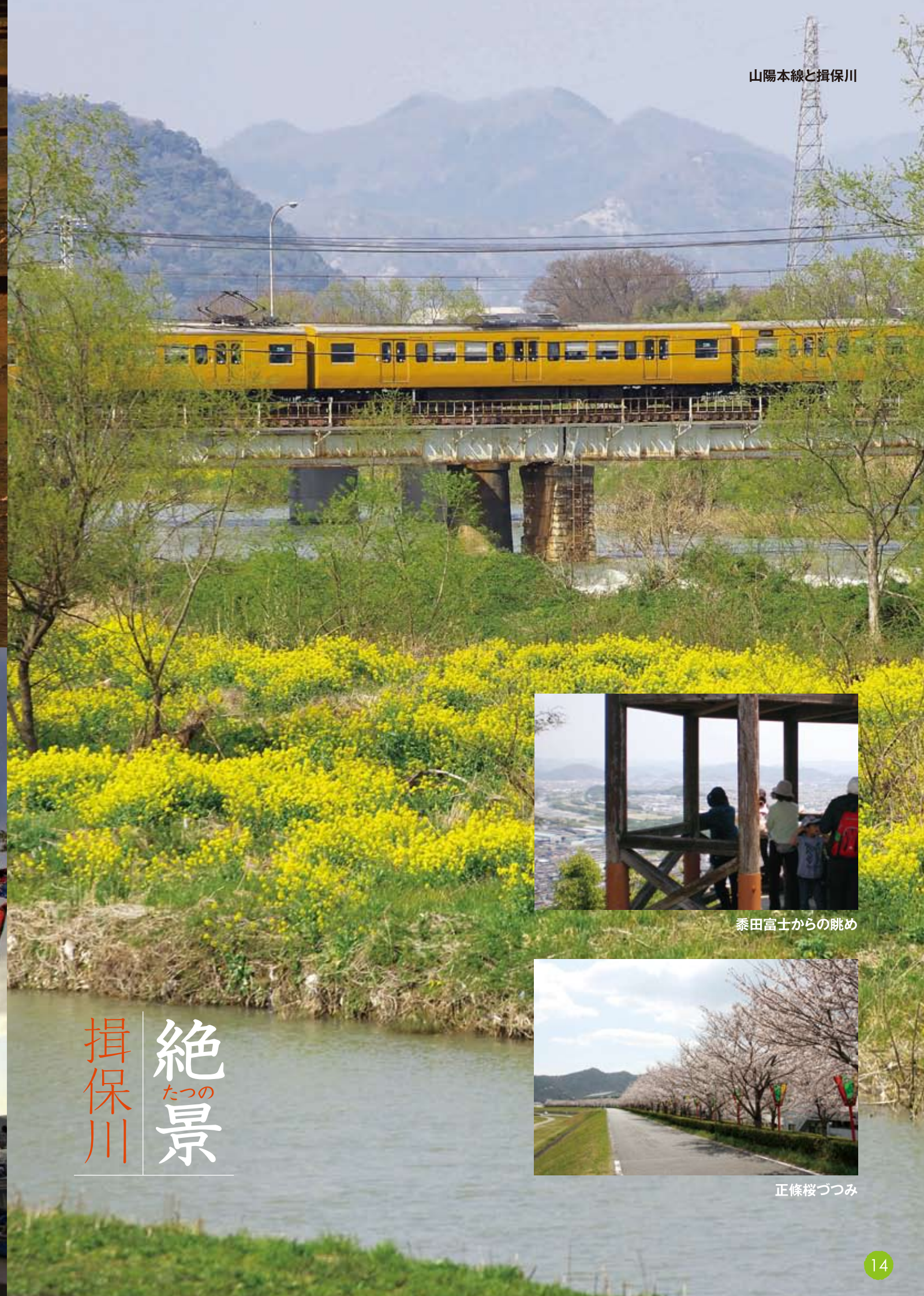
綾部梅林

御津 絶景

新舞子浜の黄金の干潟



新春の室津漁港



山陽本線と揖保川



黍田富士からの眺め

揖保川 絶景



正條桜づつみ





醤油、素麺、皮革で  
全国区！

# モノ語りのあるまち

たつのは、豊かな揖保川を中心に

淡口醤油、素麺、皮革など伝統的な地場産業を育んできました。

そして今、たつのはの風土を愛する人たちが、地域で新しく育てている産業も生まれています。

たつので生まれたモノ語りに耳をかたむけてみましょう。



## 揖保乃糸資料館 そうめんの里

そうめんの歴史と製造工程を詳しく紹介しています。

たつの市神岡町奥村56 TEL.0791-65-9000(代)  
開館時間／9:00～17:00  
休館日／毎週月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始  
入館料／大人300円 中・高校生200円 小人100円



実演・体験・見学・試食



バクにも食べたいよー！

# 素麺 600年の伝統を誇る

約600年前から播州で食されてきたと古文書にも記されていた素麺。本格的な生産は、江戸時代に冬の農閑期の副業として藩から奨励されて盛んになりました。播磨平野の小麦、赤穂の塩を原料とし、伝統の製

法で熟成を重ねて作り上げられています。手延素麺「揖保乃糸」はトップブランドとなり、全国に出荷されています。また品質を保つため原料の仕入れ、販売は組合が管理し安心・安全な製品づくりを行っています。

**手延素麺製造工程図絵** 市指定・有形民俗文化財  
この図は、明治時代の手延素麺の製造過程が13工程にわたって描かれており、播磨国揖東揖西両郡素麺製造業組合が、たつの市神岡町大住寺(だいじゅうじ)の大徳(おおみわ)神社(素麺神社)に奉納したものです。



## 手延素麺の技

### 伝統産業からチャレンジ ②

#### 麺づくりに新しい歴史を刻む

「播州そうめん」として親しまれている製麺業の伝統を受け継ぎながら、戦後に生まれた即席麺、カップ麺などの新しい麺づくりにチャレンジしてきた企業があります。昭和38年に発売された即席麺は発売当初と変わらぬ味で超ロングセラーを続け、新しい伝統となっています。



即席麺



## うすくち龍野醤油資料館

昭和初期まで蔵人が使っていた麹室、桶、樽などの製造用具や文献、資料を一堂に展示。建物も文化財。

たつの市龍野町大手54-1 TEL.0791-63-4573  
開館時間／9:00～17:00 休館日／月曜日・年末年始  
入館料／10円



### 第6回全国醤油サミット

日本の食文化の原点である醤油に着目し、醤油製造の各市町村や醸造業者が一堂に会し、意見交換や交流を深めるものです。第6回は、平成26年12月6日～7日の2日間にわたり、淡口醤油発祥の地であるたつの市で開催されました。



# 醤油 色をつけずに

関西食文化に欠かせない淡口醤油の生産地、たつの市。揖保川と醤油には深い結びつきがあります。揖保川の水は鉄分が少ない軟水です。酒造には適さなかったこの水質が、淡口醤油を造る上で、得難い利

点となったのです。加えて山間部の大豆、播磨平野の小麦、赤穂の塩と良質の材料が手に入り、流通にも揖保川の水運が利用できたのです。寛文年間に発明された淡口醤油は、上方で評判となり、発展しました。



### 各社が味を競う、たつの醤油。

素材の持ち味を生かし、見た目の美しさを大切にする関西料理を支えるのが淡口醤油。各社が独自の調査で、旨さを競う。お気に入りの醸造元を見つけましょう。

#### それがわが家の味になる。

最近はめんつゆ、ポン酢、ドレッシングなど醤油加工品も多数登場しています。



## 良い味をつける

### 伝統産業からチャレンジ ①

#### 醤油製造技術を応用して発展

伝統産業である醤油製造の醸造技術を生かし、もろみ、つくだ煮、調味料などの商品を製造している企業があります。こだわりの商品づくりにファンが多く、中部や九州地方にも生産拠点を拡大し、発展しています。おいしさを追求する心は、たつのの醤油作りが原点にあります。



海苔の佃煮



# 特産品

## 豊かな水源と伝承された技術が 良質なモノを生む

たつのには伝統産業以外にも、揖保川、瀬戸内、播州平野の恵まれた自然や気候を活かした特産品が数多くあります。共通するのは、高品質ということ。生産者の知恵と技術が生み出した温かさを感じることができます。



### 揖保川トマト

「高品質」を追求し、さまざまな工夫と技術改良を重ねた農家の努力により実った「揖保川トマト」。おいしくて、安全・安心と広く知られるブランドとなりました。



### 成山新田野菜

成山徳三郎によって干拓された御津成山新田。温暖な瀬戸内海に面した干拓地では、大根、人参、メロンなどの野菜や果実が収穫されています。



### 牡蠣(かき)

室津産の牡蠣は、ぼってりと大きな身で熱を加えても縮みにくいのが特徴です。生食はもちろん焼牡蠣も絶品と評判です。牡蠣醤油等の加工品も開発されています。



### 醤油まんじゅう

醤油のまちたつのならではのまんじゅう。特産の淡口醤油を生地に練り込んであんを包み蒸し上げています。醤油のほのかな香りとあんが調和し、絶妙の味を醸し出しています。

共通の  
売りは  
高品質

## 農作物も6次産業で活性!

農家と企業が協力して「地産地消」をめざします。



地元の農家や漁業生産者が、生産から加工、流通販売までを一貫して行う「6次産業」が注目されています。たつの市は食の安全性の面からもサポートし、地元農家と食品メーカーとのコラボなども積極的に協力しています。



バジル



紫黒米



桑の実



### 伝統産業からチャレンジ ③

## 皮革産業を発展させ、世界からも注目

国内トップシェアを持つランドセル製造会社がたつのにあります。播磨の皮革を使った小物を製造販売していた会社が、終戦翌年に室津にランドセル工場を設立しました。以来、他社にはない高い技術力を武器に、トップブランドに成長。ランドセルは海外からも注目されており、皮革産業に新風を吹き込んでいます。



ランドセル

# 牛革は 皮革

豊富な水、原皮の保存や処理に必要な塩が手に入りやすく、天日干しに適した温暖な瀬戸内気候という皮革製造の好適地であったため、揖保川の支流である林田川流域では古く鎌倉時代から皮革製造が行われて



いました。現在も皮革の一大産地として発展し、牛革は日本一の生産量を誇ります。かばん、衣料、くつ、手袋など幅広く利用されています。



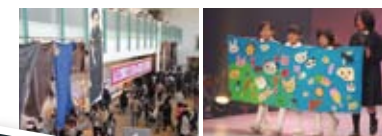
### 革細工体験教室

たつのの皮革の魅力をたくさんの人知ってもらうため、市内で革細工体験教室を実施。レザークラフト体験をしているお店もありますので、ぜひ一度体験してください。



### たつの市皮革まつり

産地で行われる国内最大級の皮革イベントで兵庫県皮革産業協同組合連合会と合同で開催しています。「ひょうごレザーコンテスト」の入賞作品の展示や地元高校生が中心となって行う皮革ファッションショー、即売会、レザークラフト教室などの催しがあります。





## 近世

江戸時代のはじめ、龍野藩は本多政朝の移封によって成立しました。その後、寛文12(1672)年、脇坂氏の入封によって、以後約200年間の脇坂龍野藩がはじまります。龍野城は鶏籠山のふもとに修築され、城下町は武家地や町家など伝統的な街並みが残り、地割が今も生きています。また、室津の町並みは、西国大名やオランダ商館長、朝鮮通信使の上陸港としての面影を伝え、市内には龍野藩の大庄屋、豪農屋敷、醤油蔵などの歴史文化遺産が各所に残されています。



**堀家住宅【国指定重要文化財】**

堀家は一橋徳川家の庄屋をつとめた豪農です。主屋の建築年代は1767(明和4)年。主屋、座敷、蔵、門など計23棟が一括して残っている希有な例です。



**永富家住宅【国指定重要文化財】**

江戸時代末期の豪農住宅で、本瓦葺の主屋、門、蔵などが保存整備され、一般公開されています。近世豪農の生活を今に伝えています。



**聚遠亭【市指定史跡】**

龍野公園にたたずむ茶室は、書院造りを加味した数寄屋風の建物です。また、別館は龍野藩主の御涼所で、質素な中にも風雅な間取りや意匠、構造に特徴があり、大名の別宅としての面影が残っています。



**棚八幡神社の獅子舞【県指定重要文化財】**

舞は十数曲あり、全体として華やかで技巧的です。特に「継ぎ獅子」と呼ばれる曲芸的な舞は、この獅子舞の第一の呼びものとなっています。起源は古く、保存会によって傳承され、自治会持ち回りで奉納されています。

## 古代～中世

新宮宮内遺跡は、西播磨を代表する弥生時代の集落遺跡として、史跡整備が進められています。多数の住居跡や墓地のほか、土器や石器も見つかっています。その後、市域に約1400基もの古墳が造られ、大小の集落遺跡をはじめとして、古代寺院や戦国時代の山城なども数多く点在しています。市内には、揖保川がはぐくんだ豊かな自然とともに、数千年の歴史と文化が重なり合って今に息づいています。



**鷺崎の屏風岩【国指定天然記念物】**

揖保川から山頂に向かって伸びる安山岩の岩脈が珍しい天然の造形です。『播磨国風土記』には神が米俵を積んで橋を立てたと記されています。



**布勢駅家**

奈良時代、市域には古代山陽道が東西に走り、馬の乗り継ぎや客人の迎賓を行う駅家が置かれていました。揖西町小犬丸にある布勢駅家は、日本で初めて確定した駅家遺跡として有名です。



**賀茂神社【国指定重要文化財】**

瀬戸内海を望む半島の突端にあり、古くから海路の安全と地域の守り神として信仰を集めてきました。約800年前、平清盛が厳島詣の際に、この地に立ち寄り祈願したと伝えられています。



**天満神社本殿【国指定重要文化財】**

赤松則祐が霊岳禅師を招いて城禅寺を建立したおり、禅師の夢枕に菅原道真が現れ、鎮守堂を祀ったとされています。本殿は天文13(1544)年に再建され、当時の一間社流れ造りの建築様式をよく伝えています。

しんぐうみやうち

**新宮宮内遺跡【国指定史跡】**

縄文・弥生時代から平安時代までの生活跡が残る集落遺跡。竪穴住居跡、溝を巡らせた墓、大量の土器・石器が発掘されました。現在、史跡公園として整備を進めています。



たつの市は、市内に清流揖保川が流れ、瀬戸内海に面する水運に恵まれ、山陽道、美作道、筑紫大道、因幡街道などの交通の要衝でもありました。そのため古くから陸路、海路の交易点として人々の往来が盛んでした。縄文時代からの遺跡群、約1300年前の『播磨国風土記』の記述などからも、さまざまな歴史の舞台となってきたことがわかります。

いにしえ  
古から  
人が集う  
まち



**埋蔵文化財センター**

新宮宮内遺跡に近接し、市内と近隣市町の原始、古代、中世の歴史文化遺産を紹介しています。



# 夕焼け小焼けの 赤とんぼ 負われて見たのは いつの日か

誰もが知っている童謡「赤とんぼ」を作詩した

三木露風は、明治22（1889）年にたつの市で生まれた詩人です。

大正10（1921）年に童謡雑誌「樫の実」で発表された

「赤とんぼ」の詩は、ふるさとの思い出を

幼き日の母の思い出を

歌ったものと言われています。

昭和2（1927）年に

山田耕筰によって作曲され、

全国で流行しました。

現在まで広く歌い継がれ、

日本を代表する童謡となりました。



## 三木露風（1889～1964）

たつの市生まれ。詩集「廃園」は、北原白秋の「邪宗門」と並んで詩壇に新風を吹き込み、「白露時代」を築きました。「赤とんぼ」は32歳のときに発表された作品で、日本を代表する童謡として親しまれています。



### 三木露風生家

三木露風が生まれ、満5歳まで過ごした生家を一般公開しています。「白壁のみち」沿いにあり、外観は古い瓦や建具などを再利用しています。「露風とともに」という愛称で、地域住民の交流の場として各種イベントの場としても利用されています。



赤とんぼ歌碑

## 三木露風賞新しい童謡コンクール

三木露風の出身地であり、「童謡の里」づくりを推進するたつの市は、1984年に「童謡の里宣言」を行い、翌年から童謡の振興のため、世代を超えて歌い継がれる新しい童謡の作詩コンクールを行っています。毎年、全国から多数の童謡詩が寄せられています。入賞作品には、曲がつづけられ新しい童謡として発表されます。



## 「童謡の里」宣言

たつの市は、三木露風の生誕地として、昭和59（1984）年に「童謡の里」宣言を行い、龍野公園内に「童謡の小径」を整備。「童謡コンクール」の開催などを通じて童謡文化の推進を図っています。



①ちいさい秋見つけた



②月の砂漠



③みかんの花咲く丘に



④七つの子



⑤叱られて



⑥夕焼け小焼



⑦里の秋



童謡の小径



文学の小径

童謡の小径

哲学の小径



## たつの文化人

古くからの歴史を持ち、文化の香り高いたつのは、ほかにも哲学者三木清、歌人矢野勘治など、日本を代表する文化人を輩出しています。まさに風土が人を作り、人が風土を育ててきたといえるでしょう。

たつの市に生まれ、それぞれの分野で活躍した文化人たち。その業績は後世へ受け継がれています。



### 三木清 （1897～1945）

明治30年、揖西町生まれの哲学者。京都大学に入学後、マルクス・レーニン主義の影響を受け、処女作「パスカルに於ける人間の研究」をはじめ「人生論ノート」「哲学ノート」など数多くの著書を執筆。世界的な哲学者としての地位を確立しました。



### 矢野勘治 （1880～1961）

明治13年、龍野町生まれの俳人、歌人。正岡子規の門に入り、短歌や俳句を作り、根岸短歌会の歌会形式をたつのに持ち込みました。一高の寮歌「春爛漫」「嗚呼玉杯に」を歌詞し、後に経済界でも活躍しました。



### 内海青潮 （1884～1968）

明治17年、揖西町生まれの詩人。詩集「明星」に石川啄木、北原白秋と並んで作品が発表されるなど詩壇で活躍しました。政治活動を通じた著述などを発表する傍ら、田園の詩人として、自然のなかに人間と社会をみつめ続けました。



### 大上宇市 （1865～1941）

慶応元年、新宮町生まれの博物学者。独学で薬草採集をおぼえ、博物学への興味を広げていきました。1900年に「コヤスノキ」を発見し、世界の植物学会に発表されたほか、「オオカミゴマガイ」「オオカミギビ」の新種の貝も発見しました。









# たつの 歳時記

たつのは四季折々に  
さまざまな祭りやイベントが行われています。  
満開のさくらの下で行われる  
武者行列は城下町ならではの風情。  
12万人が訪れるオータムフェスティバルなど  
市民も観光客も楽しめる  
魅力がいっぱいのイベントです。

**㊦ さくら祭・武者行列**  
満開の桜のもと、さまざまなイベントを開催。龍野さくら祭  
では総勢300人の武者行列が城下町を練り歩きます。  
また、揖保川さくら祭では花おどりや伝統芸能発表会が実  
施されます。

◎龍野公園／龍野神社／野田水源地公園

**㊧ 小五月祭(樟の歌)**  
県指定重要無形民俗文化財  
遊女が賀茂神社へ歌と舞を奉納した事が始まり。平安時代  
中期に記された「樟の歌」が祭りで奉納されます。

◎賀茂神社

**㊨ みつ海まつり**  
伝統行事の「火揚げや500メートルの花火」ナイアガラ  
の滝をはじめ、多くの模擬店が並ぶ夏のビッグイベントです。

◎新舞子海岸

**㊩ 童謡の祭典**  
保育園児から一般まで多様な地元音楽団体が童謡を中心  
に繰り広げる童謡コンサートです。

◎赤とんぼ文化ホール

**㊪ 揖保川いかだ下り大会**  
手づくりいかだに乗って、揖保川の約2キロを川下りします。

◎揖保川きらめきスポーツ公園／せせらぎ公園

**㊫ 納涼ふれあいまつり&花火大会**  
地蔵盆と合わせて花火大会が開催され、屋台などが出店します。

◎JR姫新線播磨新宮駅周辺

**㊬ 龍野納涼花火大会**  
約2000発の花火を打ち上げます。

◎千鳥ヶ浜グラウンド

**㊭ 八朔のひなまつり**  
戦国時代に非業の死を遂げた花嫁の鎮魂のため、半年遅れ  
て行われるようになりました。

◎室津地区

**㊮ たつのふるさとフェスタ**  
市民総参加によるまつりを実施します。

◎市役所及び中川原公園周辺

**㊯ 馬場コスモスまつり**  
5万㎡の休耕田にコスモス500万本を栽培。伝統芸能の獅  
子舞などのほか、ステージイベントもあります。

◎揖保川町馬場

**㊰ 柳八幡神社神事獅子舞**  
神岡町にある柳八幡神社の例祭で奉納される獅子舞。12曲  
ある舞の中でも「継ぎ獅子」と呼ばれる曲芸的な舞が呼び物  
となっています。

◎神岡町柳八幡神社





龍野ひな流し



梅と潮の香マラソン大会



みつ梅まつり



消防出初式



凧あげ祭り



オータムフェスティバル in 龍野



室乃津祭



皮革まつり



3  
3月上旬  
(春分の日)  
21日

2  
2月上旬  
11日

1  
1月中旬  
中旬

1  
11月上旬  
下旬

10月下旬

Ⅰ 商工業まつり

さまざまな模擬店のほかステージイベントもあります。

◎アクアホール周辺

Ⅲ 三木露風賞新しい童謡コンクール

全国から公募した詩の優秀作品に作曲し、新作の童謡として発表します。

◎赤とんぼ文化ホール

Ⅳ 室乃津祭

新鮮な海の幸、歴史的な町並みや観光資源をPRします。

◎室津地区

Ⅴ 皮革まつり

地場産業のPRとして、高校生によるレザーファッションショーや皮革製品の即売会などを開催します。

◎赤とんぼ文化ホールほか

Ⅵ オータムフェスティバル in 龍野

龍野の城下町で寺院、町家、醤油蔵など約140か所で270以上のイベントや展示を開催します。

◎城下町龍野地区

まちが賑わう  
ひとが色めく

Ⅶ 消防出初式

消防関係機関による多彩なアトラクション。甘酒などもふるまわれます。

◎千鳥ヶ浜グラウンド

Ⅷ 凧あげ祭り

手づくり凧、全国の珍しい凧が新春の夜空に舞い上がります。

◎千鳥ヶ浜グラウンド

Ⅸ 梅と潮の香マラソン大会

綾部山梅林のふもとを発着点に、播磨シーサイドロード、新舞子海岸を走ります。室津かきまつりも同日開催します。

◎御津運動場

Ⅹ 町ちゅう美術館

城下町龍野の町並みを舞台に龍野北高校の生徒と地域が協力して開催するイベントです。

◎城下町龍野地区

Ⅺ みつ梅まつり

春の訪れと観梅の始まりを告げるイベント。ステージアトラクションや、各種模擬店、ウオークラリーなど子どもから大人まで楽しめます。

◎世界の梅公園

Ⅻ しんぐう楽市楽座

県内各地のご当地特産品等の販売のほかステージイベントもあります。

◎たつの市新宮総合支所

Ⅼ 龍野ひな流し

人形供養と併せて、棧橋に紙雛を乗せて揖保川に流します。

◎祇園公園(祇園橋)





#### 【トライやるウィーク】

中学生が5日間、市内の事業所でさまざまな職場体験を行います。働くことの楽しさや大変さを経験します。



#### 【たつの少年消防クラブ】

消防行事への参加、1泊2日の消防体験学習会や施設見学などを通じて防火・防災について学びます。



#### 【児童がガイドで観光客をおもてなし】 龍野地区、堀家住宅、室津地区

龍野小学校、小宅小学校、室津小学校の児童たちが案内役をつとめます。



#### 【サイエンスリーダー育成事業】

小学校に県立大学や近隣高校などから外部講師や高校生を招いて理科実験、実習を行い、児童の理科に対する興味・関心を高めて科学的な見方、考え方ができる児童を育成します。

#### 【こどもサイエンスひろば】

小学生を対象に、科学に関する体験や研究を行う教室を開催し、子どもたちの科学に対する関心を培います。



## 子どもたちの未来

未来をつくる子どもたちのために、たつの市では子どもたちに多くのことを体験してもらう機会を設けています。豊かな心と身体を育むための食育活動、働くことの大切さ、楽しさ、厳しさを学ぶ職場体験、環境、歴史、自然、防災など、ふるさとを知り、身近に感じるすることができます。将来、大人へと成長したときに、子どもたちにとって貴重な財産となることを目指しています。

#### 【田植え・稲穂収穫】

小学生が昔ながらの方法で田植を体験します。秋には稲穂を収穫する体験も行います。



©RIKEN

#### 【SPring-8・SACLA】

SPring-8は世界最高性能の放射光を利用した大型放射光施設であり、SACLAは世界最小・最短波長・最高輝度を誇るX線自由電子レーザー施設です。両施設とも、国内外から多くの研究者が集まる供用施設として、21世紀を担う最先端の研究を進めています。

# 未来へ輝くまち

たつの市北西部は、上郡町・佐用町との1市2町にまたがる播磨科学公園都市が建設されています。世界最高性能を誇る大型放射光施設「SPring-8」、X線自由電子レーザー施設「SACLA」や陽子線、炭素線を使った最先端のがん治療が行われる県立粒子線医療センターなどを有し、21世紀の科学技術の発展を支える学術研究とナノテク分野のものづくり産業の振興に力を入れていきます。同時に「人と自然と科学が調和する都市」を目指して、自然環境、住環境の整備を進め、未来に輝くまちづくりの実現を図っています。



【SACLA外観】 ©RIKEN



#### 【チューリップ園】

約5万本のチューリップは、地元住民やボランティアによって植えられたものです。4月～5月にかけて咲き誇る景色は壮観です。



## 播磨科学公園都市



# 住み続けたいまち

これからずっと住み続けたいと思えるまちづくりのために必要なのは、安心して住み続けられる環境づくりです。防災にぎわい、子育てといった面からさまざまな課題に取り組みます。



## 安全・安心のまちづくり

市民の皆様大切な生命と財産を守るために、災害に強いまちづくりを進めます。小中学校体育館、公民館等の公共建築物の耐震化をスピーディーに進めるとともに、道路、市営住宅、下水道施設等の老朽化対策も実施します。また西はりま消防組合では、高機能消防指令センターの整備を進めています。さらに、最新の南海トラフ巨大地震・山崎断層帯地震の被害想定及び対策に合わせて地域防災計画を改訂しています。



## 人口減少への挑戦と地域創生

### ① 定住促進の対策

たつの市では若者が定住し、安心して子育てができる環境づくりのために「転入者定住促進住宅取得支援事業」、「若者定住促進住宅取得支援事業」を創設したほか、「さとの空き家活用支援事業」の補助、「空き家バンク」開設などの多くの定住促進策を推進しています。また、公共交通は誰もが利用しやすいするため、地域公共交通ネットワークの構築に取り組んでいます。

マイホーム取得を応援!

|                                                                          |             |
|--------------------------------------------------------------------------|-------------|
| <b>転入者 &amp; 住宅取得</b>                                                    | <b>50万円</b> |
| <b>転入者住宅取得奨励金</b>                                                        |             |
| 市外に居住されている方が、たつの市内に居住を目的として住宅を取得された場合に奨励金を交付します。                         |             |
| 奨励金額<br>50万円(1年目30万円、2年目10万円、3年目10万円)                                    |             |
| <b>若者 &amp; 住宅取得</b>                                                     | <b>30万円</b> |
| <b>若者住宅取得奨励金</b>                                                         |             |
| 市内に居住されている40歳以下の夫婦(夫婦のいずれかが40歳以下であれば可)が、市内に定住を目的として住宅を取得された場合に奨励金を交付します。 |             |
| 奨励金額<br>30万円(1年目30万円一括交付)                                                |             |



# 住み続けたいまち

## ③子育て・教育環境改善・人材育成

ふるさとの未来を担う子どもたちが健やかに育つために  
子育て支援・教育環境改善・人材育成に取り組んでいます。  
指導員や専門員による  
子育ての不安や悩みに対する  
相談事業・保育サービスの充実に  
取り組んでいます。

### 【子ども医療費無料化】

中学3年生以下の乳幼児と子どもに係る通院・入院費の完全無料化で、子育て世代の医療費負担を軽減します。

### 【認定こども園】

保育所・幼稚園に加え、両者の良い所を合わせた「認定こども園」を普及させます。入所、入園を希望する保護者は認定を受け、認定内容とニーズに合わせて各施設や事業を利用することができます。

### 【認定保育所の充実】

たつの市では公立保育所が12、私立保育所が14あり、待機児童はゼロとなっています。病後児保育や延長保育、一時預かりなど保育内容も充実しています。

### 【子育てつどい広場】

子育て中の親子が気軽に集い、おもちゃ遊びや親子講座、育児相談を行ったり、交流を図る場を、市内4か所に設置しています。



## 子育て支援新制度

「子ども・子育て関連3法」に基づき、たつの市では地域の実情を踏まえて

「たつの市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

「子ども・子育て会議」を設置し、広く市民の方々からのご意見を募るなどして、実施しています。



## ②にぎわい創出策

たつの地域資源を全国に発信し、観光客や交流人口の増加を図り、まちの活性化を図ります。  
観光・食事処、地場産業の情報をスマートフォン用ご当地アプリ「トコたつウォーク」を開発。  
また、イメージキャラクターの「赤とんぼくん」を活用して観光客の誘致に努めています。  
龍野地区や室津地区のまち並み景観や新舞子の干潟などの  
観光スポットを積極的に  
全国にアピールします。  
また、まちの活性化に欠かせない  
交通の対策では、  
道路、駅周辺の整備を進めています。



### 【道路整備】

市道龍野損保川御津線、門前松原幹線、片山末政線及び片島土師線などの整備を計画的に行っています。



### 【JR姫新線】

播磨地域の交通の軸として、通勤・通学・買物など市民の日常生活を支えている姫新線。大切な路線を守り、利便性を向上させるために実施している「姫新線チャレンジ300万人乗車作戦」で、団体利用や新たな定期利用者の助成を継続しています。

### 【観光対策】

スマートフォン用アプリケーション「トコたつウォーク」を開発・活用し、観光地や地場産業の情報を積極的に発信。龍野地区や室津地区の景観地区や新舞子の干潟などの観光資源もPRしています。



(イメージ)





**まちキラリ会議**  
さまざまなテーマで、市長と直接語り合い、直接市民から市政に関する意見や提言、夢を伺い今後のまちづくりの参考としています。



**移動市長室**  
市民対話の充実と総合支所の機能強化を図るため、市長が各総合支所で執務を行い、来庁された市民と直接対話しながら、市民の声に真摯に耳を傾け、地域の実情把握に努め課題解決を図っています。

**市民参加のまちづくり** 自然と歴史と先端科学技術が調和し一人ひとりが輝くまち



**自立のまちづくり事業**  
市民の自主的な公益活動に対する支援を行うことにより、市民が自ら考え行動する自立のまちづくりを推進しています。



**たつの夢・未来ミーティング**  
市の幹部が地域に出向き、市内16会場で市民と直接対話する集い。また、隔年でテーマに沿ったタウンミーティング「たつのまちづくり元気アップサロン」も実施し、市政への理解と協力を進めるとともに、市民の「声」を市政に反映して、市民が参加するまちづくりの実現をめざしています。



ボクが生まれる4年前から  
新生「たつの市」がスタートしたんだネ!



**新 たつの市 誕生!**

1市3町が合併して「たつの市」が誕生して10年となります。  
市民一人ひとりの意識によって、新しいたつの市が形づくられてきました。住みやすいまちを目指して行ってきたさまざまな取り組みを見ていきます。



2005.H17

平成17年 - 平成27年  
たつの市  
10年のあゆみ

10

市制10周年

「住みたくなるまち」「住み続けたいまち」たつの





TATSUNO CITY 10th ANNIVERSARY TIMELINE

平成22年

**ゲリラ豪雨体験**

平成22年、たつの市消防本部が開発したゲリラ豪雨体験装置を水防フェスタで披露しました。

平成22年

**「道の駅みつ」オープン**

平成22年2月に道の駅みつがオープンし、海に関係のある体験学習を実施しました。

平成21年

**防災救助訓練(防災ヘリ)**

兵庫県消防防災航空隊ヘリコプターを活用して、新宮地区、御津地区を連動した大規模災害救助訓練を実施しました。

平成20年

**龍野浄水場**

処理能力日量1万立方メートルの膜ろ過を採用した高度浄水処理施設・龍野浄水場が完成しました。

平成19年

**第1次たつの市総合計画**

新しいたつの市のまちづくりの指針を決定しました。

平成18年

**コミュニティバス「さくら」**

南北27kmを結ぶ「さくら」が1日3往復運行を開始しました。

平成22年

**「赤とんぼくん」命名**

第5回たつの市民まつりにてイメージキャラクターの愛称と着ぐるみを発表しました。愛称は市民からの公募により、決定しました。

平成22年

**JR姫新線播磨新宮駅舎竣工**

平成22年9月12日に、播磨新宮駅の橋上駅舎の竣工式が行われました。

平成22年

**JR姫新線本竜野駅舎竣工**

平成22年3月13日に、本竜野駅舎開業記念式典と、本竜野駅自由通路・橋上駅舎の竣工式が行われました。

平成21年

**姫新線新型車両**

新型車両のデザインとシンボルマークは、姫新線姫路上月駅間電化促進既成同盟会がJR西日本に提案し、採用されたものです。

平成20年

**消防レンジャー**

消防本部の職員による劇団「炎」で結成した「消防レンジャー」が防災・防火のために「戦隊ショー」を演じています。

平成18年

**まちづくりの集い**

市内16小学校区でまちづくりの集いを実施し、2600人の市民が参加しました。



- 平成23年
- 「東日本大震災支援」**
- 「たつの森林組合」が発足
  - 東日本大震災発生被災地支援をスタート
  - 半田神部中央雨水幹線が完成
  - Spring・8放射光のがん早期検出モデル事業を開始
  - 県下2市 通院・入院医療費を完全無料化(中3まで)
  - 「自立のまちづくり事業」がスタート
  - 堀家が県指定重要文化財に指定
  - 長浜市と姉妹都市交流宣言書を調印
  - 本龍野駅駐車場、播磨新宮駅北口ロータリー駐車場が完成



- 「道の駅みつ」がオープン
- 半田神部中央雨水幹線の地下トンネルを貫通
- 「市民の市政診断」を実施
- 豊堤・水防フェスタ「激流・ゲリラ豪雨体験」を実施
- 日本初の貴重本「ミケランジェロ・ラドッタマーノ」を購入
- たつの市イメージキャラクターの名前が「赤とんぼくん」に決定

- 平成22年
- 「着々と進む大型プロジェクト」**
- JR姫新線本竜野駅舎・播磨新宮駅舎が竣工
- 平成21年
- 「安全安心の取組」**
- 防災行政無線の運用を開始
  - 大規模災害救助訓練(山と海)を実施
  - 定額給付金支給を全国に先駆けスタート
  - 内閣総理大臣賞(小宅小)、国土交通大臣表彰(室津)、文部科学大臣表彰(図書館)、農林水産大臣賞(株ささ宮農)など受賞
  - JR姫新線の新型車両を導入
  - 兵庫県立龍野北高等学校が開校

- 平成20年
- 「地球温暖化の取組」**
- エコチャリ(公用自転車)を導入
  - レジ袋マイバッグキャンペーンを展開
  - 「優秀観光地づくり賞」を受賞
  - 高度浄水処理施設・龍野浄水場が完成
  - 消防レンジャー(劇団「炎」)が誕生
- 平成19年
- 「第1次たつの市総合計画を策定」**
- 防災マップを全戸配布
  - 小中学校の耐震補強工事が継続的に進行





TATSUNO CITY 10th ANNIVERSARY TIMELINE



平成26年  
**認定子ども園化の推進**  
子育て支援制度のスタートに伴い、0～5歳児を対象とした保育と教育を一体的に行う施設で、地域の子育て支援も行う「認定子ども園」化を進めています。



平成26年  
**赤とんぼくんが県内総選挙で1位**  
神戸新聞主催の「ひょうご県内キャラクター総選挙2014」で第1位に輝きました。



平成26年  
**ふるさと応援寄附金リニューアル**  
寄付金への感謝を込めて、選べる特産品を35種類に充実させ、龍野北高校生が運営する龍北工房作成の感謝シールを貼って全国へ届けます。



平成26年  
**西田正則前市長に名誉市民の称号**  
永年にわたるたつの市の伸展と市民福祉の向上に努められた功績を称え、名誉市民の称号を贈呈しました。



平成25年  
**栗原一市長による新市政スタート**  
西田正則初代市長が勇退し、平成25年11月に就任した栗原一市長による新市政がスタートしました。各総合支所で「移動市長室」を実施し、市民と直接対話をしています。



平成25年  
**揖龍南北幹線道路トンネル貫通**  
揖龍南北幹線道路トンネルが貫通し、名称は「市場碓岩トンネル」に決定。揖保川町市場と御津町碓岩を貫通する457メートルのトンネルです。たつの市民病院を含む御津地域とのアクセス時間短縮が図ります。



平成25年  
**「西はりま消防組合」発足**  
たつの市、相生市、宍粟市、太子町、佐用町の3市2町の消防本部を統合し「西はりま消防組合」が発足。設置宣言式が行われました。連携して消防力の充実と強化をめざします。



平成25年  
**「堀家住宅」が国の重要文化財に**  
平成25年8月に「堀家住宅」が国指定の重要文化財に指定されました。江戸時代からの建物群が敷地内に一括して残っています。



平成24年  
**たつの大橋完成**  
たつの大橋が完成し、平成24年3月24日から供用を開始。揖保町萩原と揖保川町市場が最短距離で結ばれました。



平成24年  
**たつの市民病院2期棟完成**  
平成24年8月にたつの市民病院の2期棟が完成しました。新市民病院で診療が始まりました。



平成23年  
**半田神部中央雨水幹線通水式**  
平成22年6月に半田神部中央雨水幹線通水式が行われました。9月の台風12号で初稼働し、家屋への浸水被害は免れました。



平成23年  
**東日本大震災支援**  
東日本大震災が発生。たつの市では被災地支援をスタートさせ、備蓄している物資及び市民からの支援物資を被災地へ届けました。



平成27年

**現在進行中の主なプロジェクト**

- 認定子ども園整備事業
- 中央学校給食センター建設事業
- 小中学校屋内運動場非構造部材改修事業
- 公民館耐震補強事業
- 放課後児童クラブ事業
- 道路新設改良事業
- 竜野駅・東鶯崎駅周辺整備事業
- まち未来創生事業

平成26年

「住みたくなるまち、住み続けたいまち」「ふるさとたつの」に向け、**新事業を開始**」

- 国民宿舎3荘の抜本改革を断行
- たつの市中央学校給食センター整備に着手
- 定住促進に向け新事業をスタート
- 第6回全国醤油サミットを開催
- 観光立市を目指し新たな観光資源を発掘
- 50年ぶりに新宮町でNHKラジオ体操を開催
- イメーজキャラクター「赤とんぼくん」が県内総選挙で1位を獲得
- 西田正則前市長に名誉市民の称号を贈呈
- ふるさと応援寄附金リニューアル醤油サミットを開催
- 聚遠亭、中川原公園蒸気機関車などイルミネーションを実施

1位に感謝！

平成25年

**「新市政スタート」**

- 栗原一市長による新市政がスタート
- 堀家住宅が国の重要文化財に指定
- 三木露風生家の一般公開が始まる
- 揖龍南北幹線道路トンネル貫通名称は「市場碓岩トンネル」
- 「西はりま消防組合」が発足。3市2町の消防力を強化
- 公共建築物ストックマネジメント計画に着手
- にしはりまクリーンセンターが供用開始

平成24年

**「災害に強いまちづくりへ」**

- たつの市民病院2期棟が完成。診療をスタート
- 西播磨地域広域消防運営計画を策定
- NHK大河ドラマ「平清盛」でたつの市をPR
- たつの大橋が完成（市道龍野揖保川御津線）
- 市民が新宮宮内遺跡の竪穴住居を復元
- 「たつの就職フェア」を初開催。また男女の出会いサポート事業を展開
- 小学校校舎耐震化率100%を達成



## たつの市プロフィール

### 市の概要

**たつの市**は、兵庫県の西南部の西播磨地域に位置しており、南北に長い地形です。

市域の北側は山地が広がり、南は瀬戸内海に面し、南北に貫く形で一級河川揖保川が流れており、自然環境に恵まれた地域です。東西15.7km、南北29.8kmで210.87平方キロメートルの面積を有します。



### 赤とんぼくん

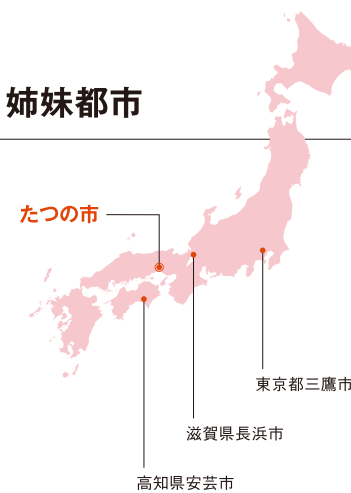
たつの市のイメージキャラクターとして2009年11月3日に誕生。  
イベントや行事に登場しています。  
2014年に「ひょうご県内キャラクター総選挙」で第1位となりました。



#### 公式プロフィール

|       |           |          |                        |
|-------|-----------|----------|------------------------|
| ● 名前  | 赤とんぼくん    | ● 住所     | たつの市内の揖保川流域、水のきれいなところ  |
| ● 性別  | 男の子       | ● 性格     | 恥ずかしがり屋                |
| ● 年齢  | 5歳（ずっと5歳） | ● 特技     | たつの市内をPRすること           |
| ● 誕生日 | 11月3日     | ● 好きな食べ物 | そうめん（冬は、にゅうめん）、醤油まんじゅう |
|       |           | ● 好きなうた  | 童謡「赤とんぼ」               |

### 姉妹都市



### 市章

Tを図案化し、光豊かな太陽と実りの大地、揖保川から湧き立つ清風を赤、緑、青で描き、自然に恵まれた市域と未来への飛翔を表現しています。



### 市花《さくら》

バラ科に属し、日本に最も多くの品種があります。古来、「花王」と称され、日本の国花でもあります。



### 市木《うめ》

中国原産のバラ科に属する木で、早春に白、紅、薄紅の花を開き、万葉以来日本人から愛されてきました。



### 高知県安芸市

平成元年4月に姉妹都市提携。安芸市は、童謡「浜千鳥」「雀の学校」などの作曲家、弘田龍太郎の出身地であり、たつの市と同じく童謡の里づくりを進めていることから交流を深めています。



### 滋賀県長浜市

平成13年3月に姉妹都市提携。長浜市は琵琶湖北部にあり、京阪神、中京、北陸の結節点として栄えています。江戸時代に丁野荘脇坂村（現長浜市）から龍野藩主として脇坂氏を迎えたことから、歴史的なゆかりの地として交流を重ねています。



### 東京都三鷹市

平成13年3月に姉妹都市提携。三鷹市は都立井の頭恩賜公園をはじめとする緑豊かな環境に恵まれています。赤とんぼを作詩した三木露風が三鷹市で後半生を過ごした縁により、出身地であるたつの市と絆を深めています。